



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社メンタルヘルステクノロジーズ 上場取引所 東
コード番号 9218 URL https://mh-tec.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 刀禰 真之介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業開発・M&A室室長兼コーポレート本部担当 (氏名) 松浦 優 TEL 03 (6277) 6595
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,275	74.5	△96	—	△146	—	△202	—
2023年12月期中間期	1,304	10.6	216	△31.2	212	△27.6	158	△29.9

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 △202百万円 (—%) 2023年12月期中間期 158百万円 (△29.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△20.00	—
2023年12月期中間期	16.00	14.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	4,271	1,111	21.4
2023年12月期	1,733	1,115	64.3

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 913百万円 2023年12月期 1,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,816	123.0	400	△20.2	338	△31.8	163	△63.1	16.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) (株) タスクフォース、除外 1社 (社名) 1

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	10,109,300株	2023年12月期	10,107,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	64株	2023年12月期	64株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	10,107,829株	2023年12月期中間期	9,884,946株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2024年8月14日 (水) にTDnet及び当社ウェブサイトへ掲載いたします。

また、当社は、2024年8月14日 (水) に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動が正常化に向かう一方、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価上昇が節約志向を高めていることなどで個人消費は低調に推移しました。今後の景気は緩やかな回復基調が見込まれていますが、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなかで、当社グループは2024年2月29日に株式会社タスクフォースの全株式を取得し子会社化して、メディカルワークシフト事業（医療機関を対象とした人材サービス）へ進出いたしました。2024年4月から導入された医師の時間外労働上限規制によって医療現場での人材不足が顕在化しつつあり、医療職が専門性の高い業務に集中できる環境の整備が求められております。同社は、医療現場における看護補助者を活用した医療専門職のタスクシフト・タスクシェアを推進しており、エッセンシャルワーカーの労働力ニーズの高まりによる業容の拡大を見込んでおります。同社は、大規模急性期病院向け看護補助者の人材サービスに強みを持っており、当社グループの持つメンタルクリニック運営支援サービスとの相乗効果を図って参ります。

これを踏まえ、メンタルヘルスソリューション事業とメディカルワークシフト事業を2つの成長エンジンとし、2027年12月期において連結売上高100億、営業利益20-25億円を達成目標とする「中期経営計画MHT100/20-25」を策定し、2024年3月27日公表の「事業計画及び成長可能性に関する事項の開示」の中で発表いたしました。

当中間連結会計期間においては、株式会社タスクフォースを連結子会社化したことに伴い、同社買収関連の一時経費及びのれんの償却費を計上しております。加えて、同社連結による売上高の増加により、2022年5月に付与した第11回新株予約権の行使条件達成の蓋然性が高まったため、株式報酬費用を計上しております。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,275,812千円（前年同期比74.5%増）、営業損失96,283千円（前年同期は営業利益216,713千円）、経常損失146,520千円（前年同期は経常利益212,949千円）、親会社株主に帰属する中間純損失202,151千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益158,118千円）となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

なお、株式会社タスクフォースを連結の範囲に加えたことに伴い、同社の看護補助者人材サービスを新たなセグメント「メディカルワークシフト事業」として設定しております。また、報告セグメントの各グループ会社に営業費用として計上していたグループ会社の経営指導料を、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、調整額として全社費用に含める方法に変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

a. メンタルヘルスソリューション事業

メンタルヘルスソリューション事業では、産業医及び保健師等による役務提供サービスと労働者の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービス「ELPIS」をパッケージ化し、「産業医クラウド」の名称で提供しております。

当中間連結会計期間におけるメンタルヘルスソリューション事業においては、新規顧客獲得のため、顧客サービス体制の強化、大手企業向けコンサルティング提案営業の推進などを引き続き行ってまいりました。また、既存顧客へのサービス追加による増額提案活動も実施しております。さらに、グループ内の(株)Avenirと(株)明照会労働衛生コンサルタント事務所との営業活動、新規事業開発等の相乗効果が出てきております。(株)ヘルスケアDXのメンタルクリニック運営支援サービスについては、業務運用が軌道に乗り始めております。

この結果、当中間連結会計期間における当セグメントの経営成績は、売上高1,225,794千円（前年同期比18.9%増）、セグメント利益329,944千円（同66.4%増）となりました。

b. メディカルワークシフト事業

2024年2月29日付で株式会社タスクフォースを完全子会社としたことに伴い、2024年3月より同社の看護補助者及び医療事務人材サービスを「メディカルワークシフト事業」として新たにセグメントを設定いたしました。

当中間連結会計期間における当セグメントの経営成績は、売上高939,410千円、セグメント利益は108,742千円となりました。

なお、前年同期は同社を子会社化しておりませんので、前年同期比較は記載しておりません。

c. メディカルキャリア支援事業

当中間連結会計期間におけるメディカルキャリア支援事業においては、自治体における新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業がほぼ終了したことから、ワクチン接種に関連する売上がなくなりました。また、2024年4月から開始された医師の働き方改革により、医師転職市場において予想以上に流動性が低下したことも売上減少につながりました。

この結果、当中間連結会計期間における当セグメントの経営成績は、売上高83,666千円（前年同期比65.5%

減)、セグメント利益25,707千円(同80.9%減)となりました。

d. デジタルマーケティング事業

当中間連結会計期間におけるデジタルマーケティング事業においては、グループの売上伸長に貢献することを目指して当社グループ企業向けのマーケティングに事業部内のリソースを集中しました。

この結果、当中間連結会計期間における当セグメントの経営成績は、売上高は26,940千円(前年同期比13.7%減)、セグメント利益は11,368千円(同68.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,537,648千円増加し、4,271,483千円となりました。これは主に株式会社タスクフォースの子会社化に伴い、のれんが2,043,252千円増加の2,220,820千円となったことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,541,579千円増加し、3,159,898千円となりました。主な増加要因は、当中間連結会計期間に実行した資金借入によって長期借入金が1,998,982千円増加し2,211,443千円となったこととあります。一方主な減少要因は、方主な減少要因は、短期借入金が16,200千円減少し19,000千円となったこと及び未払法人税等が6,306千円減少し50,759千円となったこととあります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,931千円減少し、1,111,585千円となりました。これは、第11回新株予約権の行使条件達成の蓋然性が高まったため新株予約権を198,463千円計上した一方、中間純損失を計上したことにより利益剰余金が202,151千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、本日同時に開示しております「業績予想値と決算値の差異に関するお知らせ」に記載のとおり、主にメディカルキャリア支援事業において、医師転職市場の流動性の低下を反映して減収となったことにより、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益ともに予想を下回る結果となりました。

なお、2024年12月期通期連結業績予想については、2024年3月27日に公表いたしました「2024年12月期業績予想に関するお知らせ」の通期の連結業績予想に変更はありません。今後の業績推移等を慎重に検討したうえで、修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	913,714	1,055,754
売掛金	365,411	645,408
仕掛品	70	46
貯蔵品	2,414	2,672
前払費用	27,646	27,055
未収入金	30,685	5,846
その他	7	2,907
貸倒引当金	△4,324	△3,717
流動資産合計	1,335,626	1,735,974
固定資産		
有形固定資産		
建物	29,832	64,174
減価償却累計額	△1,881	△7,310
建物(純額)	27,951	56,863
工具、器具及び備品	20,395	25,458
減価償却累計額	△10,336	△13,663
工具、器具及び備品(純額)	10,058	11,795
有形固定資産合計	38,009	68,659
無形固定資産		
のれん	177,567	2,220,820
ソフトウェア	42,350	45,265
ソフトウェア仮勘定	36,595	54,062
無形固定資産合計	256,514	2,320,148
投資その他の資産		
投資有価証券	—	10,026
出資金	31	131
長期前払費用	4,399	4,113
差入保証金	28,463	30,756
繰延税金資産	70,790	101,673
投資その他の資産合計	103,685	146,700
固定資産合計	398,209	2,535,509
資産合計	1,733,835	4,271,483
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,547	105,109
短期借入金	35,200	19,000
1年内返済予定の長期借入金	84,826	329,362
未払金	71,383	337,390
未払法人税等	57,065	50,759
未払消費税等	44,960	54,465
契約負債	9,449	16,616
預り金	5,526	26,617
賞与引当金	900	8,750
その他	—	384
流動負債合計	405,858	948,455
固定負債		
長期借入金	212,461	2,211,443
固定負債合計	212,461	2,211,443
負債合計	618,319	3,159,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,269	540,419
資本剰余金	531,349	531,499
利益剰余金	43,432	△158,718
自己株式	△78	△78
株主資本合計	1,114,973	913,121
新株予約権	543	198,463
純資産合計	1,115,516	1,111,585
負債純資産合計	1,733,835	4,271,483

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,304,409	2,275,812
売上原価	549,696	1,389,785
売上総利益	754,712	886,027
販売費及び一般管理費	537,999	982,311
営業利益又は営業損失(△)	216,713	△96,283
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	—	2
雑収入	16	309
営業外収益合計	20	319
営業外費用		
支払利息	1,770	13,317
支払手数料	2,000	22,000
新株予約権発行費	14	2,038
寄付金	—	10,000
雑損失	—	3,200
営業外費用合計	3,784	50,556
経常利益又は経常損失(△)	212,949	△146,520
特別利益		
受取損害賠償金	5,874	—
新株予約権戻入益	87	447
特別利益合計	5,961	447
特別損失		
固定資産売却損	—	170
特別損失合計	—	170
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	218,910	△146,244
法人税、住民税及び事業税	46,829	38,290
法人税等調整額	13,962	17,616
法人税等合計	60,792	55,906
中間純利益又は中間純損失(△)	158,118	△202,151
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	158,118	△202,151

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	158,118	△202,151
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
中間包括利益	158,118	△202,151
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	158,118	△202,151
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	218,910	△146,244
減価償却費	17,960	14,350
のれん償却額	—	39,383
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△132	△606
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	6,280
返金負債の増減額 (△は減少)	△1,919	384
受取利息	△3	△7
支払利息	1,770	13,317
受取損害賠償金	△5,874	—
株式報酬費用	—	191,927
新株予約権発行費	14	2,038
固定資産売却損益 (△は益)	—	170
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,454	△20,949
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△126	△234
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,449	8,562
前払費用の増減額 (△は増加)	13,938	4,297
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,720	—
未収入金の増減額 (△は増加)	—	△2,481
未払金の増減額 (△は減少)	△53,153	66,803
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,030	7,167
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,985	△34,500
預り金の増減額 (△は減少)	—	△74,295
長期前払費用の増減額 (△は増加)	753	2,694
その他	19,987	6,157
小計	117,926	84,217
利息の受取額	3	7
利息の支払額	△1,921	△13,218
損害賠償金の受取額	—	27,356
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△134,458	△69,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,449	28,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,208	△18,330
有形固定資産の売却による収入	—	135
投資有価証券の取得による支出	—	△10,026
無形固定資産の取得による支出	△13,456	△25,926
敷金及び保証金の差入による支出	△15,053	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	209
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,892,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,717	△1,946,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	44,668	△16,200
長期借入金の借入れによる収入	222,333	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△66,418	△128,940
株式の発行による収入	9,900	300
リース債務の返済による支出	△1,705	—
新株予約権の発行による収入	—	4,258
新株予約権の発行による支出	△36	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	208,740	2,059,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	152,573	142,039
現金及び現金同等物の期首残高	659,511	913,714
現金及び現金同等物の中間期末残高	812,084	1,055,754

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
給料及び手当	193,234千円	252,037千円
株式報酬費用	—	191,927
広告宣伝費	73,070	57,789
支払手数料	33,302	45,538
法定福利費	30,827	43,623
のれん償却額	4,672	39,383

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	812,084千円	1,055,754千円
現金及び現金同等物	812,084	1,055,754

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	メンタルヘルス ソリューション 事業	メディカル キャリア支援 事業	デジタル マーケティング 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,030,762	242,428	31,218	1,304,409	-	1,304,409
外部顧客への売上高	1,030,762	242,428	31,218	1,304,409	-	1,304,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	450	-	52,482	52,932	△52,932	-
計	1,031,212	242,428	83,700	1,357,341	△52,932	1,304,409
セグメント利益	198,250	134,828	36,379	369,458	△152,744	216,713

(注) 1. セグメント利益の調整額△152,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	メンタルヘル スソリューション事 業	メディカル ワークシフ ト事業	メディカル キャリア 支援事業	デジタル マーケティ ング事業	計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	1,225,794	939,410	83,666	26,940	2,275,812	-	2,275,812
外部顧客への売上高	1,225,794	939,410	83,666	26,940	2,275,812	-	2,275,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	350	-	-	25,349	25,699	△25,699	-
計	1,226,144	939,410	83,666	52,290	2,301,511	△25,699	2,275,812
セグメント利益	329,944	108,742	25,707	11,368	475,762	△572,046	△96,283

(注) 1. セグメント利益の調整額△572,046千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当中間連結会計期間において、株式会社タスクフォースを連結の範囲に加えたことに伴い、同社の看護補助者人材サービスを新たなセグメント「メディカルワークシフト事業」として設定しております。

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

従来、提出会社のグループ会社に対する経営指導料を、報告セグメントの各グループ会社の営業費用として計上していましたが、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、当中間連結会計期間より調整額として全社費用に含める方法に変更しております。

なお、前中間連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の計算方法によって作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式会社タスクフォースの全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。これにより「メディカルワークシフト事業」において、のれんが2,082,635千円発生しております。

なお、のれんの金額は当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。